

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は2024年度日本陸上競技連盟規則並びに本大会申し合わせ事項により行う。

2 練習について

本競技場および補助競技場を利用し、別紙「練習会場使用上の注意事項」に基づき練習することができる。
開場は10時からとする。

3 招集について

(1) 選手招集所について

① 9.98チャレンジCUPの部と9.98CUP予選は、本競技場第4ゲート(100mスタート側)内側の選手待機場所に設ける。

② 9.98CUPの決勝(トラック種目、走幅跳)の出場者は本競技場室内走路内100mスタート側に設ける。ただし、投てき種目出場者は現地ピットにて点呼を行う。

(2) プログラム記載の招集開始時刻までに招集場所に集合すること。招集開始時刻より点呼を開始し、競技者本人がアスリートビブス・スパイク・商標等の確認を受けること。招集完了時刻に遅れた選手は、その競技種目に出場できない。

(3) トラック競技出場者は、点呼を受けた後にレーンナンバーカードを受け取り、腰部に貼り付けること。

(4) 招集所から競技場所への移動は、係員の誘導に従うこと。

(5) 棄権をする場合は、招集開始時刻までに「欠場届」に必要事項を記入し、招集所に提出すること。

(6) 競技規則「競技者に対する助力」として競技区域内に持ち込みが禁止されている携帯電話等を招集の際に持ち込まないこと。もし、持ち込んでしまった場合は、必ず招集所の係員に預けること。

4 アスリートビブスについて

(1) 9.98チャレンジCUPと9.98CUP100m予備予選出場者は、日本陸連選手登録時に配布されているアスリートビブス(ナンバーカード)を背・胸部に貼り付けて参加すること。

(2) 9.98CUP各種目予選および決勝出場者は、主催者が用意するアスリートビブス(ネームカード)を着用する。

(3) トラック競技出場者には招集時に主催者が配布する腰ナンバー標識を右腰に貼付すること。

5 競技について

(1) 9.98CUPのトラック種目は24名で予選(3組)を行い、各組2着とそれ以外の記録上位者2名の8名で決勝レースを行う。

(2) 9.98CUP100mの予備予選(30日)はタイムレースとし、上位6名が予選に出場できる。資格記録上位18名はシード出場とし、予選からの出場とする。

(3) 男女走幅跳は、男女1ピットずつで実施し、6回の試技とする。

(4) 男女やり投は同時進行とし、試技順は女子選手全員の第1回試技後に男子選手の第1回試技という試技順で実施し、同様に6回の試技とする。

(5) 女子ハンマー投、男子砲丸投は6回試技とする。

(6) 9.98チャレンジCUPは、種別ごと(低学年・中学年・高学年・中学生・高校一般)のタイムレースとし、上位8名が決勝に出場できる。

6 競技用具について

- (1) 原則として会場備え付けのものを使用する。
- (2) 走幅跳とやり投で助走路に2個まで、砲丸投とハンマー投はサークル外に1個だけ、主催者が用意したマーカーを置くことができる。個人所有物は使用できない。
- (3) 競技場に備え付けられていない投てき物(やり・砲丸・ハンマー)ならびに数の少ない投てき物については、持ち込みを認める(※日本陸連検定品に限る)。その際、希望者は競技開始時刻の1時間30分前から招集開始時刻(12:30~13:10)までに、本競技場室内走路内の「9.98CUP・NRC選手受付」に持ち込む投てき物とともに「投てき用具検査申請書」を提出すること。また、受け付けた投てき物については「投てき用具預り証」を発行する。そして、その種目の競技終了後には「9.98CUP・NRC選手受付」で「投てき用具預り証」を確認のうえ返却する。

なお、検査に合格した投てき用具については、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとする。

競技場備え付けの投てき物については、下記「10 福井運動公園陸上競技場投てき用具一覧」を参照のこと。

- (4) スパイクシューズのピンの数は11本以内で長さは9mm以下とする。また、スパイクの先端近くで長さの半分は4mm四方の寸法に適合するものとする。
- (5) シューズの靴底(ソール)の厚さについては、WA規則TR5に準ずる。
 - a 靴底厚計測は招集時に招集所にて実施する。
 - b 事前に下記よりWA承認シューズリストを確認すること。

【WA承認シューズリスト】

<https://worldathletics.org/about-iaaf/documents/technical-information> →
アスレチックシューズ→承認された運動靴のリスト → JA をクリックしダウンロード →
<https://certcheck.worldathletics.org> をクリック → 全リスト をクリック
※出場種目欄に『Y』と記載のモデルのみ使用することができる。

7 入退場について

- (1) 9.98CUPトラック競技決勝出場者は、点呼後、本競技場室内走路100mスタート側から入場し、スタート準備を行う。スタート直前に選手の紹介をする。
- (2) 走幅跳出場者は、点呼後、公式練習を行ってから走幅跳ピットに整列し、選手の紹介をする。
- (3) 投てき種目出場者は、点呼後、公式練習を行ってから各ピット付近で整列し選手の紹介をする。
- (4) 9.98CUP出場者は、競技終了後、フィニッシュ地点横南倉庫内(ミックスゾーン)を通過して選手待機場所へ戻る。決勝での優勝者は南倉庫入口付近でインタビューを受けてから選手控え場所へ戻る。
- (5) 9.98チャレンジCUP出場者は、フィニッシュ後第1ゲート付近で荷物を受け取って退場する。

8 表彰について

- (1) 9.98CUPの男女やり投、女子ハンマー投、男子砲丸投の3位入賞者は、30日の全競技終了後に表彰を行う。対象者は20:30頃までに正面玄関ロビーに集合すること。
- (2) 9.98CUPの男女走幅跳、トラック種目の3位入賞者は、31日の全競技終了後に表彰を行う。対象者は19:50頃までに、正面玄関ロビーに集合すること。
- (3) 9.98チャレンジCUPの部各種目1位の入賞者は、賞状を準備しているので、成績発表後に総合案内所に受け取りに来ること。

9 その他

- (1) 競技中や練習中に発生した傷害については、応急処置のみ主催者で行うが、以後の責任は負わない。
医務室は本競技場玄関ホールの横に設置する。
- (2) 助力については、日本陸連競技規則に則り禁止する。
- (3) メインスタンドでの立っての応援及びテント設営は禁止する。
- (4) 各チームのテントは本競技場芝スタンド裏側周辺緑地に設置すること。本競技場芝スタンド、補助競技場内、本競技場前円形芝生内、県営体育館周辺の設置は禁止する。また、補助競技場屋内走路内での待機休憩場所としての場所取りは禁止する。
- (5) 貴重品の管理は、各自・各チームで行い、不審者等の疑いがある場合は、早急に大会本部に連絡する。
- (6) チーム・個人で出されたゴミは、各自で責任を持って持ち帰る。
- (7) 報道等で撮影を行う場合は、必ず事前に各自で受付をして、主催者が用意したビブスを着用する。
- (8) 今大会で主催者または報道等で撮影された写真等を、来年度のプログラム等に使用することをご了承いただく。
- (9) 撮影対象が競技会主旨と異なると思われる場合は、記録内容の確認を求められることがある。内容によっては退場を求められることがある。
- (10) 観戦をしている中で、人権侵害や競技運営に重大な支障をきたすような発言や、ヘイトスピーチと取られる発言・看板等の掲示等があった場合、または他の観戦者に多大な迷惑を掛けていると判断した場合は退場を求める。